

その他の機能

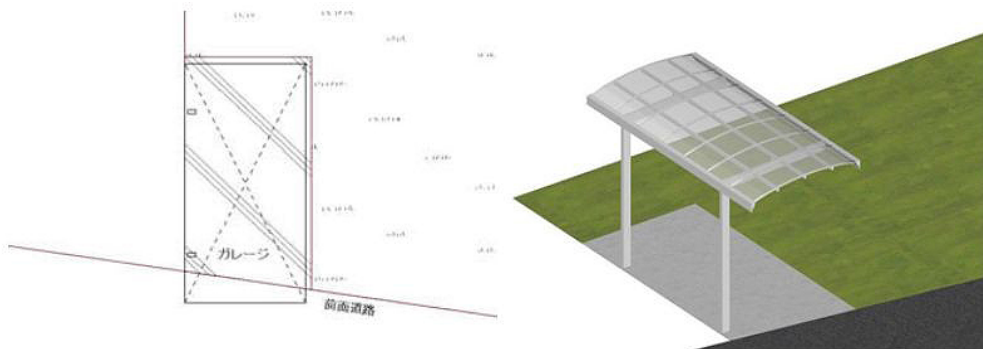
ソリッド編集

配置したオブジェクトを部分的にカットするには、ソリッド編集が便利です。
カーポートの一部を斜めにカットしたり、柱のみカットすることが出来ます。

ソリッド編集

オブジェクトの配置

任意の位置にオブジェクトを配置します。
カーポートの一部が道路にはみ出して設置されています。
今回は、この部分をカットします。



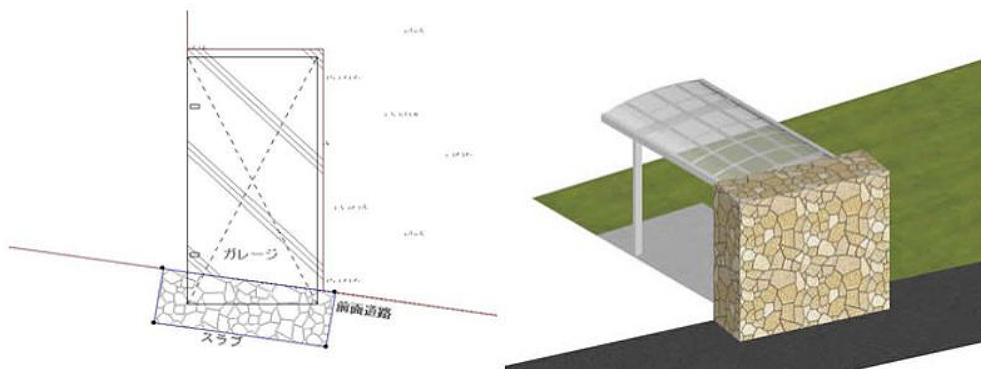
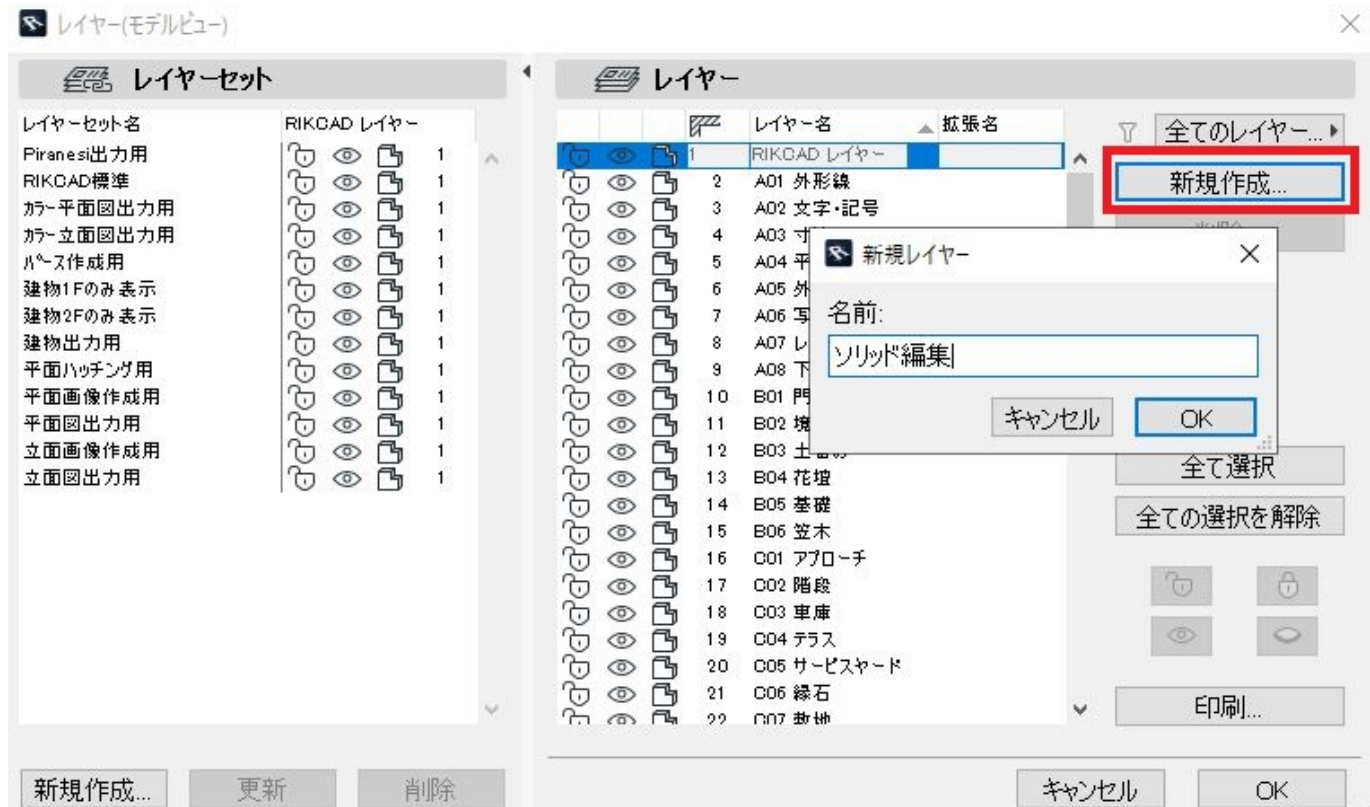
スラブの設置

1) カットし消したい部分を、「スラブ」(「メッシュ」でも可能です)で覆い隠します。

このとき、使用するスラブの材料設定はどんな素材でも構いませんが、レイヤーは新規に作成したレイヤーもしくは、利用していないレイヤー設定してください。

新規のレイヤーは、「メニューバー」より「オプション」 「レイヤー(モデルビュー)」
または「レイヤーの設定(モデル)」で開いたウィンドウにて作成できます。

その他の機能



「メニューバー」より、「加工」「ソリッド編集」をクリックします。

a. カットされる側の対象を指定します。

ここでは「カーポート」を「矢印ツール」で選択して、「ターゲット要素を取得」ボタンをクリックします。

その他の機能



下の「ターゲット」の数が0から1に変わります。

b. 次に、カットするための対象を指定します。
ここでは入力した で作成した「スラブ」を「矢印ツール」で選択して、「オペレータ要素を取得」ボタンをクリックします。

その他の機能



下の「オペレータ」の数が0から1に変わります。

c. ウィンドウ内の「操作を選択」から「減算」を選択し「実行」ボタンをクリックして「X」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

その他の機能

ソリッド編集

▼ 新規編集

ターゲット要素を取得

ターゲット: 1

オペレータ要素を取得

オペレータ: 1

操作を選択:

減算

新規のターゲット材質:

☐ オペレータから継承

☒ 属性を使用

実行

次に、先ほど「オペレータ要素」に指定したスラブを、非表示にします。

1) 「メニューバー」より「レイヤー（モデルビュー）」または「レイヤーの設定（モデル）」をクリックします。

2) 「レイヤー名」の中から、今回のオペレータ要素の「ソリッド編集」レイヤーを選択し、「非表示」ボタンをクリックします。

その他の機能

3) 「OK」をクリックして画面を閉じてください。



以上で、3D画面上では、オブジェクトのカットはできましたが、
**平面図上の
オブジェクトの輪郭線表記は元の表記のまま**
の為、必要に応じ、以下の方法で平面図表記の編集を行って下さい

【塗りつぶしツールで平面図表記を編集する】

平面図上に残った、カーポートのはみ出した部分は、「塗りつぶしツール」で隠してしまいます。

その他の機能



「ツールボックス」より、「塗りつぶし」ボタンをダブルクリックし、設定画面を表示します。



ボタンを押していない状態にして、外周線を非表示に設定します。
「塗りつぶしパターン」を「空の塗りつぶし」に設定して、ペンカラーを白（14番）にします。

塗りつぶしのデフォルト設定

デフォルト

A04 平面仕上表示

一般設定

実線

空の塗りつぶし

14

組み立て法:

面積の数値を表示

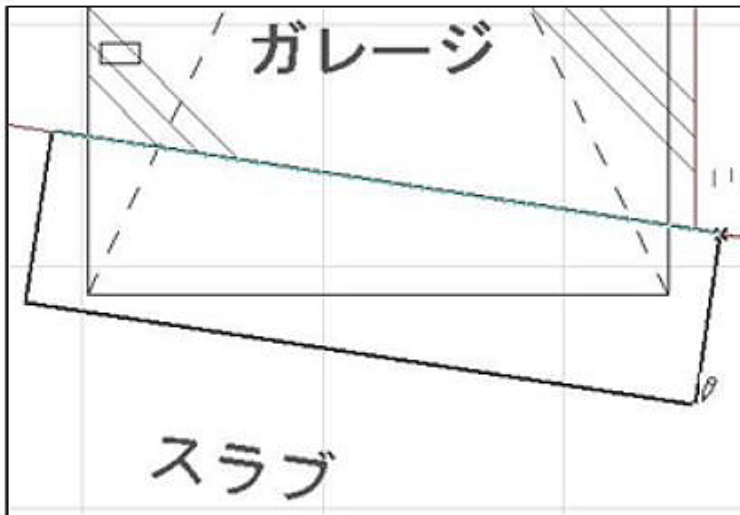
ゾーンから減算

0 塗りつぶし面積の%

キャンセル OK

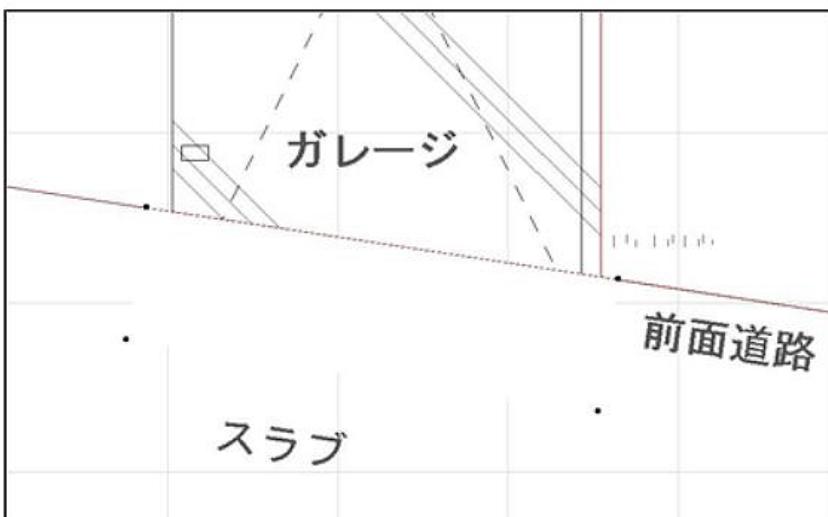
隠したい部分が全て収まるように囲います。

その他の機能



入力した塗りつぶしを選択し、右クリック 「表示順序」 「一番上に表示」をクリック

カーポートの表示よりも、「塗りつぶし」の面が上に配置された状態になるため、下のカーポートの表示が見えなくなります。



一意的なソリューション ID: #1238

製作者: 亀田

最終更新: 2022-03-28 04:50